

IoTとBIツールを活用し生産性を高める 「データ経営推進サービス」開発プロジェクト

(代表申請者) 株式会社B B I C (神奈川県)
(連携体事業者) 井口産業株式会社 (浦安市)

■プロジェクトの概要

〔現状の課題〕

- ものづくり中小企業の製造現場において生産性を向上させるためには、工場内にある全ての装置の稼働・停止状況や、作業員による金型交換など装置稼働前後に要する準備時間の見える化を図り、効率的な製造体制を構築する必要がある。
しかしながら、中小企業では、保有する装置にセンサーが付いていない古い装置が多く現場の作業は作業員任せとなっているため、装置の稼働状況を把握できていない。
また、仮に全ての装置にセンサーを取り付けたとしても、それを一元的に集約管理する安価なシステムが存在しない。

〔対応策〕

- 申請者は、古い機械にも簡単に設置できる無線式センサーを活用し、センサーから得られたデータから稼働・停止時間や作業員の準備時間を一元的に管理する安価で、使い勝手の良いIoTシステムを開発する。工場内の各装置の稼働状況を1つのシステムに集約して把握することで、隙間時間を活用した製品の生産など、無駄のない生産計画につなげ、中小企業の生産性向上を図る。
加えて、安価なBIツール（データベース上の情報を集計して見やすく表示するソフト）を活用し、各装置の稼働率を画面上に表示させて見える化を図るとともに、既存の生産・販売管理システムのデータから、顧客別、製品別等の付加価値額を簡単に一覧表示させるシステムを開発する。